

「ハッ場ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」に対する関係住民の意見聴取

平成23年11月8日（火）14:00～15:20

国土交通省ハッ場ダム工事事務所川原湯総合相談センター

発言者：意見発表者10

私は、地元●●の●●●●●と申します。言い訳とお詫びと何て言いますか、お願いなんです。

私、8年もう来年の3月で丸9年になりますけど、●●●で倒れましてね、右半身が思うようになりません。したがって書くのが思うように書けないものですから、今日、しっかり書いてきたかっただけですが、なかなかうまく書けないもので要点だけ整理をしてみました。したがって、うまく皆さんに私の気持ちが、お伝えできるか自信がございません。さらには、倒れる前はどこへとも自分の言いたいことを申し上げてきたんですが、年も取りまして遠慮もあって、人前ではあまりしゃべることが自信がなくなりましてね。そんなことで、今日も、私の思っていることをうまく言えるかどうか不安なんですけど、本当に水没者の立場でやむにやまれない気持ちを持って、先程、賛成者の方はなんでという話ができましたけど、それについても、今です私73才、今聞きながら、ふるさとのためにと一緒に共同でわさび作りをしているんですが、組合員がもう私が一番若い80才ぐらいになって、わさび田に、行くのに運転ができないんですね。何を言いたいかという上毛新聞の●●さんがいますが、ダムの57年というものを書きましたが、あれからもうすでに2年経ちまして59年です。そういう中で私も二十歳の頃だったと思うんですけど、ダムの話を聞きました。本当にダムに疲れ、翻弄され、そんなことでまあ、今です私、検証の結果が出た事に対して不満が出ましたけど、私から言えばですね、検証以前にダムは進めてもらいたいと、私も、ずっとハッ場ダムをみてまいりましたから、地すべりのこと、あるいはいろいろ皆さんが心配されていることもよくわかっています。

それから本当に長年の人間の感もあります。わかっていますけれどもそれを解消しなければ私は水を貯めさせるつもりはありません。水を貯めてから直せばなお、金がかかりますね。そういう事を考えてもなおかつ、このハッ場ダムに対する今までどのくらいの金が、もの、あるいは人間の苦しみがかかわってきているか、そういう事を考えると、その今皆様が言っていること以上に遙かにお金をかかっている。時間があれば、私も皆さんとつぶさに膝をつき合わせて、そのことについても対話をしたいと思いますけど、このです私不景気の中で、このハッ場に掛かった金が何千億、ダム、覆水盆に返らずと言う言葉がありますけども、このお盆はですね、ダムというお盆は、お盆に例えれば、どんなものか、これをですね、ダムを造るために汲んだ水、あるいは皆さんがいうように、これからかかることもあると思うんですね。でも、この今ダムを造るために汲んできた水、これはですね、あなた方が想像しているより、もっともっと大きな金なんです。

それでこのダムを壊せば、このダムのために貯めてきた水も金も我々の人生の犠牲もみんな水の泡になって、泡になってしまうんです。そういう意味で、私は、このハッ場中止ということはですね、今日もここに持ってきましたが、●●さんが書いたところにハッ場の57年がここに書いてありますけど、20年前に、ハッ場を中止するというのであれば、20年前に言って頂きたかった。

その頃はみんな反対だったです、●●さんも先程お話しが出たように、●●さんもそうです、ところがその後いろいろな話を聞いて、条件を聞いて、最後は●●さんも納得して、それならやむを得ない、屋根の上のダム反対の看板も下げたんです。これが、事実なんです。あるいは下げなくても子供さんは

お父さんに下げられる、そういう結果としては、ここではダムに関係した方は約400戸です。納得いかない、未だに納得いかない人は何人いますか。みなさん、現地をみて、聞いたことがありますか。今、そこにおられる●●●さんも、川原湯に住んでいる●●●さんもどういうふうに思っているか、あなた方と同じかもしれませんけれども、反対運動はしていませんよ。他の方はみんな容認したんです、それがどういうことかという皆様がおっしゃったような、そういうことも含めて、よく考えに考えた上の結論なんです。そのことをよくお考え頂きたいと思うです。それでここに来なくても、みんな生活のために一所懸命苦労しているんです。ダム検証、国が生活再建含め、八ッ場ダム建設が最も有利な案だということを、今度の生活再建の検証の中では発表されました。それで、私たちも、この前、前原さんが来たときに申し上げたんですけれども、この現況を見てどう思いますか。しっかり白紙の立場で検証して対応しますと言ったんです。それで、メンバーとかいろいろなことを言われていますけれども、この検証することについては、前原さんも各大臣もメンバーが良いとか悪いとか聞いたことはありません。発表した時の前原さんも私に言わないのは、不満だと言ったけれども、内容がどうこうというのは言いませんよね。というように、それなりに筋道の通ったみなさんの検討の結果による発表だと思うんですよね。そんなことをいろいろ考えると、私はこの八ッ場ダムのことは、国がやることですから、川のこととは間違いなく不安をなくしてもらわないと困ります。だけれども、ここまできた以上は不安を解消してしっかりとした計画のもとに、ダムは推進していただきたいと思います。さらには生活再建も私たちが今の安全を含めて心配ないような検証をしていただいて、ダムを進めてもらいたいと思っております。それでは、一応今までの、私の文章がうまくあれしていませんので・感情を申し上げたんですけど、一応下手な文章で清書をしてきたので、これを読みあげさせていただきます。

平成21年9月17日、前原元国土交通大臣が就任後間もなく、八ッ場ダムはマニフェストに書いてあるから中止すると突然言明したが、既にダム事業は生活再建事業のほかは8分どおり進んでおり、ダム本体も仮排水路が完成して、堰堤も着工寸前でありました。生活再建事業等を含めダムを中止した方が余計に金がかかるということも知らずに、ダム中止をすれば4000億もの予算が浮くというような考えのもとにマニフェストに書いてあったという理由だけで中止を言明した。地元住民はかつては大方の人はダム反対であったが、国策であり、一都五県のみなさま方の治水利水のために八ッ場ダムがどうしても必要だということから、長年にわたる混迷・苦しみの中から苦渋の選択により一都五県吾妻町地元を含め協議し、協定を結んでダムを受け入れてきました。それを思えば大臣の中止という言葉はあまりにも理不尽に思えてなりません。中止撤回を求める我々に対し、白紙の立場で、国、国土交通省一都五県地元長野原町と協議した上で進めるのが当然ではないでしょうか。しかし、大臣は地元住民に迷惑を掛けて申し訳ない。白紙の立場で予断を持たずに検証すると前原大臣をはじめ各大臣は同じことを言ってきました。そして、さる9月17日関係地方公共団体からなる検討の場において、洪水調整・新規利水、流水の正常な機能の維持のために、総合評価において八ッ場ダムが最も有利であることが国から示された。前田大臣は10月8日県庁を訪れ八ッ場ダム建設事業を24年度予算に反映させる目標をしっかり守る。本事業の結論を大臣が決定すると弁明した。さらに野田総理大臣も国会で八ッ場ダムについては検証の結果に沿って国土交通大臣が適切に処理されるものと答弁しております。したがって、八ッ場ダムの検証事業を直ちに完了し、ダム本体の着工、早期完成、さらには生活再建事業の早期完成を望みたい。今年東日本大震災をはじめ多くの台風や集中豪雨等が発生しました。この地においてもいつ起こるかわかりません。下流を洪水や濁水等の災害から守るために一日も早い八ッ場ダム建設事業の完成を求めるところであります。特に八ッ場ダム建設が最も有利であるという結果が出た以上、ただちに本体工事に着手するとともに基本計画通り平成27年度末までに生活再建事業を含めすべてのダム

事業を完成させてもらいたい。ダムを中止すれば覆水盆に返らずという言葉がありますが、ダムに翻弄され失われた59年の私たちの人生も貴重な税金も含めてダム事業に費やしてきたすべてのものが水泡に帰します、私たちがダム事業によって失われたすべてのものが何であったか。そのことをしっかりと検証して、補償し、生活再建事業に反映させてもらいたいと思います。

以上